

令和5年8月28日(月)(R5第21号)

夏休みが終わり、今日から、前期後半が始まりました。

学校での出来事を記す前に21号では、2日前に行われた「松ヶ丘地区 ふるさとまつり」について書きます。

8月26日(土)の午前中は若干不安定な天候で心配されましたが、お祭りが開催される頃にはすっかり晴れ渡り、日差しがきつく、日影を探してしまうほどでした。

15時になると「カラン カラン」というあの懐かしい鐘の音が聞こえてきました。アイスが無料配布される合図です。早速、私もいただきました。いくつになってもアイスはおいしいですね。ごちそうさまでした。

16時から、「こどもステージ」。仲間や兄弟、幼稚園の子まで参加して、歌ったり、踊ったりと素敵なパフォーマンスを見せてくれました。ステージに上がる度胸もとっても素晴らしい！来年は参加者がもっと増えるといいな。

17時から、各学校の代表の発表です。まずは小学生から。松ヶ丘小学校と仁戸名小学校の5・6年生による「よさこいソーラン」を披露しました。(スペースの関係もあり、学校ごとに)次に、松ヶ丘中学校吹奏楽部による演奏、そして千葉南高校ダンス部によるキレキレのダンスも観ることができました。

盆踊りを挟んで、すっかり暗くなった19時半からは3組の大人たちによる演奏でした。提灯の明かりとスポットライトに照らされて、ギターを生演奏に、素敵なハーモニーに、私たちの世代が大好きなスタンダードナンバーを聴かせていただきました。まるで夏フェスに参加しているようでした。

数か月前から計画を立て、お盆明けには校庭にステージができ上がり、提灯をつるすための柱が立ちました。前日には正門のところには、鉄柱で新たな門が設置され、そこには「ふ」

「る」「さ」「と」「ま」「つ」「り」と提灯が掲げられました。4年ぶりのお祭りを成功させようという松ヶ丘地区の皆様の強い思いを感じました。

たくさんの方が参加し、同じ時を共有し、大いに楽しむことができました。松ヶ丘中学校地区地域運営委員会の皆様のおかげです。ありがとうございました。

素敵なお祭りに参加できたこと、そして夏休みが終わる前に多くの子どもたちに会えたことも、嬉しかったです。